

ジオパークガイド養成講座2020 8コマ目 受講者回答集

設問1 「ジオパークガイドとしての抱負と今後の具体的な活動」

## 受講者 1

今回ジオパークガイド養成講座を受講した動機としては、幅広い視点から自然を解説し理解や体験を深めるツアーやサービスから、持続可能な社会について考えるきっかけを提供したいと考えたからです。

私達が暮らしている地域の自然環境や私たちの文化や歴史は大地と切り離せない関係にあります。しかし、現代社会に暮らす私達は、それらのつながりを忘れ、人間が創り出したシステムの中だけで生きている錯覚に陥っているとしばしば感じます。

自然環境の恵みである食物やエネルギーの浪費、人類の歴史のタイムスケールを超えたレベルにおいては、起こるべくして起こる大地震などに対する脆弱性など、私達が今後持続的に生きていくためにも、まずは「私達と大地とのつながり」を改めて認識することがとても重要だと感じています。

ただ、正論だけでは人々の興味や賛同を得ることはなかなか難しいと思います。今回の講座を通じて学んだジオの面白さやその伝え方をベースとしつつ、地域に暮らす人々や地域を訪れる人々に関心を持っていただける形で提供していきたいと考えています。

私は香川県在住であるため、三好市における頻繁な活動は難しい面があります。しかしながら、行政区域に縛られることなく、むしろ香川と三好市ひいては四国との大きな関わりを踏まえた解説を香川でも行っていきたいと考えています。

例としては、吉野川や阿讃山脈、四国山地との関わりなどから香川県がなぜうどん県になったのか？阿讃山脈や中央構造線が作り出した標高 1,000m の森の特徴などについて解説するツアーなどが考えられます。

私が行っているツアーに参加されるお客様からは、黒沢湿原や剣山への訪問を希望する声もしばしば聞きますので、現地集合・解散型のツアーにジオの要素を取り込んで解説・案内することも考えられます。また、讃岐ジオパーク化を目指す活動の中で讃岐ジオガイドの認定もいただきましたので、香川県と三好市と連携した取り組みも検討していきたいと考えています。

## 受講者 2

私は、訪日外国人に最も利用されるゴールデンルートと呼ばれる観光ルート以外にも、日本の自然、歴史、文化、暮らしについて五感を通じて楽しんでもらえるガイドをしたいと思います。

これまでに初めて日本に来られたお客様は京都、奈良、大阪などの神社仏閣、お城や日本庭園を訪れ、日本食を召し上がって日本旅行を楽しまれたと思います。今後は、日本を体験された方々が、再度日本に行きたいと思えるツアーが望まれるようになってくるのではないかと、そして、そうしたツアーの一つになり得るのがジオパークだと思います。

私は、日本の本当の魅力は大都市ではなく地方都市にこそあると考えていましたが、その地方の成り立ちの根本となるのが、山や河川、平野などの土地、つまりジオ（土地）だということを今回の講座で学ぶことができました。

日本を形作った地球のダイナミックな活動は、三好市をはじめ全国各地にその痕跡をとどめています。それらは険しい山脈、今もなお活発な火山活動、地表に露になっている地層、湧き出る温泉、風雨や河川による浸食の跡などです。しかし、そうしたものは開発の進んだ大都会では見ることができず、自然が残されている地方でこそ見るのが可能です。ですから日本各地のジオパークで、地球の活動の痕跡を実際に見て、触れることができることは素晴らしいことだと思います。

さらに、地球のダイナミックな活動で生まれた土地の上に形成されてきた歴史や文化、そして気候風土とともに営まれてきた人々の暮らしを分かりやすい形で情報発信できることが地方の魅力になると思います。そのためには堅苦しい授業や文献でではなく、実際にその土地を訪れて、見て、歩いて、食べて、人々と交流することができるジオパークツアーを実現できれば大変有望な観光資源だと思います。

私は、通訳ガイド&ジオパークガイドとして三好市など地方のそうした魅力を外国人観光客に紹介していきたいと思います。

### 受講者 3

三好を取り巻く地質学要素、またそこから生まれた素晴らしい景観、時に生活していく上で過酷であった環境が、どのように三好の歴史、文化、社会全体に影響を与えてきたかを、これからの地域の持続可能な環境保全及びジオパーク構想がもたらす経済的発展を目指すこととともに、全世界に発信できるような活動をしていきたいと思っております。

#### 受講者 4

今回の養成講座を受講した主な目的は、三好市が「日本ジオパーク」の認定に向けてどのような取り組みを行っているかを知りたかったためである。

8コマ目のオンラインによる「インタープリテーションガイド研修」では、先進地では、ジオツアーの中でジオサイトを案内するにあたり、興味をそそられるような「ネーミング」や「イメージキャラクター」を駆使して参加者に興味を持たせ、楽しんで遊びながら参加できるという効果を出していると感じた。

私のジオパークガイドとしての今後の活動としては、人前に出て話をすることは得意でないため、ガイドとしてのデビューは控えたいと思っている。

現在の三好市ジオパーク構想が固いイメージを持つためにそれを少しでも変えることに協力したい。専門的な知識を有する者には問題はないと思うが、内容を知りたいと思う初心者には興味や楽しさが伝わりにくいと感じる。

その解決策として、三好市に行ってみたいと思われるような「仕掛け」やジオサイトにおける「ネーミング」や「イメージキャラクター」を創造するサポートを行っていきたいと考えている。

また、三笠ジオパークからは、見て飲んで食べるという誰もが楽しめるモノとして「ジオ弁当」が紹介された。

意見交換時にも提案したが、三好市では「地酒で乾杯条例」が制定されている。日本酒では有名銘柄があり、ワインも製造されているため、地ビールとして「ジオビール」を地域おこし協力隊などと協力して製造すればそれも話題になるのではないだろうか。

また、三好市は、平成18年3月に市町村合併後15年が経過するが、観光案内看板等に合併前のモノが残っている場合が多い。このようなモノを三好市に訪れたジオパークツアー参加者が見てしまえば、幻滅してしまうと危惧される。まずはジオサイト内の整理が必要と思う。

## 受講者 5

ジオパークガイドを養成するための講座を受講したのにも関わらず、実際にジオパークガイドができるかどうかという点はまだ不安があります。現地に何度も通い、毎日違う状況に対する案内の仕方や注意すべき点を確認したり、実際に自分の目で見たり、歩いたりすることを含め、多くのことが不足しているからです。なので今後もガイドになるための勉強を続けていき、ガイドデビューに備えたいと思います。

## 受講者 6

ジオパークは、大地の成り立ちとか地質・地形だけでなく季候、生態、又人との関わりとして歴史、文化、災害等に大きく関わっている。つまりジオパークは地域そのものの成り立ちと関わっている。

ジオパークを知ることは、地域を知ることであり、地域を知ることにより、地域の良さがわかり、地域に愛着がわいてくる。

ガイドをするには、先ず自分自身が地域をよく知る必要があり、地質・地形だけでなく、文化・歴史・防災等についてより一層勉強したいと思う。

ガイド養成講座は、その第一歩のガイダンスであり、養成講座を修了したからガイドができるというものではない。ガイドとしての勉強はこれからであり、その為には、色々なジオパークの見学、説明会、大学主催の生涯学習講座等の機会を見つけて積極的に参加し、知識を広めガイド技術を身につけていきたいと思っている。

ガイドとして何をするか、地域の良さを、地域の人たちに知っていただきたい。ともすれば、自分が住んでいるところは、日常当たり前の光景で、良さがわからないものである。それを別の目を見て、他の地域にはないもの、他とは違った良い点をガイドすることによって知ってもらいたい。

具体的な活動としては、小さな事からこつこつと、継続して続けていきたいと思う。

## 受講者 7

私は約 25 年英語の通訳案内士をしています。今はコロナ禍で休業中ですが、来日された外国人観光客の方々に全国にお連れしています。

ガイディングの内容としては文化的・歴史的な、いわゆるカルチュラルサイトに焦点を当てたツアーが主流です。特に欧米の方々は買い物というより、異なった文化・生活様式・風習・歴史に触れたいという思いで来日されます。そのため、ガイドとして各地域の文化、特産品、景勝地、気候風土、歴史、宗教行事等を学び、ツアーに臨みます。

今回の講習を受けて、最も感じたのは自分の地質・地形についての知識の薄さです。例えば、日本列島は元々大陸の一部であった事、4つのプレートの上にある珍しい国である事、フランクロイドライトの設計した前の帝国ホテルに使われたのは大谷石という耐火性に優れた多孔性の石、凝灰岩だという事等々、一例ですが、こういったガイドとしての情報は持っていますが、基本的なものばかりです。

正直に申し上げますと、人のかかわる生活文化歴史は頭に入ってくるのですが、偉大な自然の事になると難しく、時間のスパンが長く、恥ずかしながら、興味がわいて来ませんでした。

今回三好市のジオサイトについての講座を拝聴し、多くの景勝地が目で見ただけでなく、地質・地形の説明を受けることによって、よりその訪問が有意義になると感じました。

また 7 回目のインタープリテーションガイド研修のお二人の現役ガイドの方のお話を伺い、ジオパークガイドとしてだけでなく、英語ガイドとしても大変勉強になりました。

今後は

- 1) 外国人観光客の方々に各地をガイドする時、文化・歴史だけでなく、もっと地質・地形のジオサイトにも注目し、準備したいと思います。
- 2) インタープリテーション研修でご説明があったように、どうしたら思い出に残るジオサイトの説明になるか考え、分かりやすい言葉で、出来れば観光客の国のジオサイトと比較して説明出来るよう活動していきたいです。

## 受講者 8

私は、7月に、入会しました。実際にツアーを担当したら、何をどう語るか、2か月間ぐらい、いろいろと勉強しながら、模索していました。そんな時、白地小学校での出前授業の経験から、大人にもどうだろうかと思い、模型づくりを思いついたりもしました。

先輩のサポートの時に、その語りを覚えようともしました。先輩の良さも取り入れながら、自分がすとんと落ちるストーリーを作りたいと考えていました。ガイドの機会は10月のトロッコ列車試乗会からで、いきなり報道陣に説明したので、うまくいかなかったと思います。けれども、その後、いくつかのツアー客も送り込んでくださって、秋は本当に大忙しでした。

実際に池田の市街地ツアーについては、10回以上のガイド経験、それと同数位のサポート経験を積んできました。大歩危もサポートで経験しました。その中で、市街地ツアーでは、自分なりの納得がいくストーリーをつくり、語れるようになったつもりになっていました。

ところが、この講座の最終回のオンライン研修での、インタープリテーション。ガイドの個性を活かしながら、メッセージがある、構成されている、お客様と関連がある、楽しい、を達成させるような「ツアー」を考えることが大切なんだと思うようになりました。今まで、どうにか、「時間内にやりこなす」事を責務のように努めてきたガイドですが、本来の「自分も楽しい」に造り変えていかないと、と思うようになりました。たくさんの情報を伝えている、市街地ツアーでも、その意識を持って臨むことが大切だなあと感じました。ガイド講座での学びをどう活かすことができるか、当面の課題にもしていきたいと思います。

今後の具体的な活動について、次の事を考えました。霧島のガイド象もとても、気に入っています。

①個人として、学びを活かしたガイドの資質の向上・・・事実から、何をどう語るか・・・「人を惹きつけるストーリーづくり」へ謙虚に反省し、さらに勉強を積んでいきます。メッセージがある、構成されている、お客様と関連がある、楽しいがあるのか！

具体的にどうするのか

○反省する ツアーでの反省では、自分なりに、指摘も受けて、お互い切磋琢磨している。しかし、この年齢で、自分はなかなか変わっていない、個性の発揮も認めて、妥協できるところまで改善していきたい。

○分析的に評価する 評価の観点があるので、それでチェックする。時間ある限り語ってしまうのが、ガイドの特徴みたいに思っているが、大事なところに持つて行くための説明は、何なのか、単に物知りではない、観光案内とどこが違うかをはっきりと解決しておく。

○学び続ける 書物から学ぶ（論文・歴史・事実・地元の出てくる文学書・地元の紹介・パンフレットなど幅広く）人から学ぶ（地域の方の聞き取りから，殿谷さん・大学・講師の講演等から，お互いなど） 事実から学ぶ（現地見学，観察調査，イベントに参加する，道づくりや清掃体験など）創造的に学ぶ（他地域でガイドを受けてみる，と多分衝撃が伝わってくる，百聞は一見に如かず，を味わいたい！，オンラインツアーの参加も経験回数を多くしていきたい）

②ジオガイドの会研修部として

○資質向上のための研修計画事業の少ない時期に年間計画にして，実行していく

○ストーリーを導くための工夫（工夫の余地があるものについて）．．．．．

模型製作（大歩危について提案制作中）

○語るストーリーの usb 等への保存（藤本さんからの提案で新人のための研修に）

○事業ごとの評価表，PDCA サイクルで評価できる仕組みづくり（窮屈になりすぎないように）

を目指したいできれば，

③人を惹きつけるグッズ制作グループ．．．．．立ち上げの一人として協力したい

○例えば，石・山・川にかかわる実験材料の制作，スタンプラリーカード，缶バッジ制作 お土産・お弁当の開発など

## 受講者 9

今はまずジオパークという意味と役割を自分なりに解釈し、理解を進めることが必要だと感じています。講座を受講するだけではなかなか消化して自分のものにするにはできません。ですが、丁寧な説明により、ジオパークというものが地質を対象とするだけではないということに気づきました。あらためて私がなぜこの講座に応募したのかを見直すことができました。全国通訳案内士としていろいろな地域に行きますが、地質的なことは日本全体に関係することで、特定の地域だけの説明だけではすみません。ですから三好市の提供される機会を勉強に活かそうと思いました。

これまで他地域のジオパークを訪問した時は、地質や地球の活動に焦点が当てられていたので、学校の授業を聞いているようで理解しようとしてもなかなかできませんでした。知ってもらおうという役割がガイドの第一なので、自分の疑問を一つ一つ解決し、どのような疑問にも答えられるようにしたいと思うようになってきました。

また、三好市には住んでいないのですが、去年のプチガイド講座から引き続き、受講することで、三好市が大変身近に感じられるようになりました。徳島県にはたびたび行きましたが、特定の地域を意識したことはありませんでした。これからは三好市に行くようにしたいと考えています。そして、講座であがっていた地域を実際に歩き、景色を見て三好市を感じたいと思っています。歩くことで、視点を定めて三好市のジオパークとして紹介できるコースを考え、物語を作りたいと思います。

他地域に住む者でもご縁を得て三好市とつながることができ、自然を歩いて文化や地元の方々を愛情をもって紹介できるガイドになりたいと考えています。

## 受講者 10

箸蔵寺のガイドは何もメモを見なくとも案内できますが池田街歩きの案内も自分なりにできます。やはり、案内ができるようになると、気持ちに余裕ができてきます。お客に合わせて簡単な雑談をしながら案内が楽しいです。

また、お客の来る都道府県や市町村が分かれば来るまでに、お客さんの地元の観光地や食べ物や温泉地などをこちらから話しかけるとお客さんとの距離が近くなり、安心して話を聞いていただけます。！

例えば千葉県の方なら「上総の国の方がここ箸蔵寺に幕末から明治前半にかけて、36回お参りされた方の記念碑があるよ？とか木更津タワーから見る夜景きれいだねとか！！成田さんの事ももちろん案内する、こちらの三好のことを調べておくことも大事です。確かある温泉好きなお客さんには、松尾川温泉を紹介しました。値段も安いし温泉の質が良いと伝えると喜んでくれました。

一番良いのは現物を見ながら説明できるのがよいと思います。古いことを話すときは、写真や絵が有るとよいです。これからもお客と対話ができるガイドになりたい。

## 受講者 1 1

まず、私は大阪府在住のため、実際三好市のジオパークガイドをするためには、交通、宿泊等の物理的条件をクリアする必要がありますが、ここではクリアしたという前提でお話しします。

私はスペイン語・ポルトガル語の全国通訳案内士を仕事にしております。残念ながら、お仕事ではアクセスのよい主な観光地を案内することが多くジオパークを案内したことがありません。しかし、プライベートでは山を走ったり歩いたりするトレイルランニングをライフワークにしているので、舗装路より自然道を歩き植物や樹木を眺めるのが好きです。また数ある山の中でも、修験道など、寺社に関わる、歴史のある道が好きです。さらに、その土地固有の食を楽しむのが好きです。こういう理由で（コロナ禍以前は）全国のトレイルランニング大会に参加してはその地の自然や食、歴史を楽しんできました。今度は自分が楽しむだけでなく、それを人に伝えられたらと思っていたタイミングに、機会があって三好市のジオパーク活動を知り、ガイドの養成講座に申し込みました。ガイドとなるにはまだまだ勉強が必要ですし、現場を知ることも必要ですが、現時点で、三好のジオパークでは特にカルチュラルサイト、中でも鷄足山や藤川谷の妖怪伝承サイト、ぜんまい畑サイト、有瀬・吾橋の茶畑（送っていただいた「かづら橋」は上品なまろやかさでとっても美味しかった）、五所神社の大杉サイトにエコサイトを組み合わせた案内ができればいいなと思っています。まずは日本のお客様から。そして、できればそのツアーの様子をスペイン語やポルトガル語で発信して、それらの国の方々も呼び寄せたいです。外国の方が個人的に行きづらい場所だからこそ、全国通訳案内士の経験が生きるのではないかと考えております。

## 受講者 1 2

7 コマで伊豆大島ジオガイドの西谷さんや三笠ジオパークの下村さんのオンラインツアーを視聴して、改めて「私たちのめざすガイド像 2015 in 霧島」を振り返ってみた。

### 1 知識だけでなく物語風に伝える

人と自然のつながり（ジオストーリー）をご自分の言葉で、ご自分の暮らしを例に挙げて、ご自分もとても楽しそうに、分かりやすく伝えておられた。

### 2 「その土地ならではの」の物語を伝える

火山はともだちとおっしゃるだけあって、足取りから日頃からフィールドを歩かれられる様子が伺え、地元のご友人の話などを簡潔にまとめた情報は、興味深く伺った。

### 3 自分のジオパークだけでなく 地球全体を伝える

お客様に伝わりやすくなるように、まず自分の中で日本のジオパーク全部の概略をつかみ、インバウンドのお客様のお国も比較しながら三好ジオパークの価値を語ることは必要と思った。

### 4 正確な内容を、わかりやすい言葉で伝える

特に、西谷さんのガイディングは専門用語がほとんどなく、ゆったりと楽しめた。これは高度なスキルと思う。「？」がひとつ生まれると、自分は次には進めないことが多いので、お客様にやさしいことばでわかりやすく正確に伝える訓練が必要と思った。また他のジオパークガイドのお仲間に入れていただいて情報を共有していくことも、日本の全体像を把握するためにも、とても大切と思った。

### 5 お客様に応じた伝え方をする

お客様へ How What Why などの質問を投げかけて語っていただいて情報を引き出し、お客様に関連づけてわかりやすく伝え、お客様に気づきを得ていただけるようにしたい。

### 6 興味を持たせる工夫をしながら伝える

写真・動画、関連付けた説明が楽しく理解できた。景色を観察する際にも、音やにおい、肌で感じる触感など、五感を利用したいと思う。吉野川の川風や祖谷溪谷の空気などもお伝えしたい。

### 7 状況を的確に把握し、安全管理を行う

気象や自然現象、活動場所・地形、生物、お客様の状況等によって起こり得る危機管理は今後ますます重要になると思う。下村さんからは冒頭で安全対策の呼びかけとリスクに応じた安全対策の例を視聴できたし、応急処置については 6 コマ目で学べた。今の自分には想定できていないその他の事故が発生した場合の対処方法については、先輩ガイドの知見を共有させていただきたい。

### 8 常にガイド技術を高める努力を重ねる

まずは他のジオガイドツアーに参加して、どのように安全に配慮し、お客様の関心を高めておられるか、自分も楽しみながら様々なガイド手法を学びたい。その上で取り入れられるところは取り入れ、自らのガイド技術を高めたい。

具体的には小さな活動を積み重ね、最終目標は5コマ目で回答した1泊2日のコースを1日と半日にわけて、希望者には1泊2日となるプログラムを実現したい。

### 受講者 13

(答え) 先ず基本的に、「ジオパーク」の宣伝を心がけたいと思う。先日も、七コマ目の準備で図書館を訪れた(東京郊外、山の手地区)。図書館の職員は、ジオパークに対する認識が殆ど無く、説明が必要であった。

これまで外国のお客様からジオパークについての質問を受けた事が無い。少なくとも、フランス及び仏語圏に関しては皆無である。旅行社の作る英語、仏語の行程表にも、何らジオパークに関する説明は見当たらない。世界遺産は随分前から認知がされているが、それと同様とまではゆかずとも、重要な観光資源として、今後大いに開発が望まれる分野だと思う。

### 今後の具体的な活動

日本の旅行社に、上記の提案を行う、つまり、外国の注文主、オペレーターへの宣伝を積極的に行って貰う。私は長年インバウンドに関わっている由縁で、外国より直接の業務依頼、問い合わせを頂く。その様な取引先、お客様に、積極的に売り込みを行う。ジオパークの魅力について、理解を促す。実は、今回5コマ目の設問を受け、「三好ジオツアー」の試案を製作した。その為にネットで情報を収集、インパクトを感じる写真をピックアップした。その中から更に厳選したものを「日本三大秘境の一つです」として、フランスのお客様にメールで送付した(今の所二か所)。内一名は忙しい方なので、まだお返事を頂けないが、後の一名は、「ツリートレッキング」の写真に対しすぐに、「えー!?こんな事ができるの?」という反応を見せた。このアクティビティは、私にとっても「この様な魅力的なアウトドアスポーツがある!」という嬉しい発見(しかも如何にも三好らしい)。「是非」この様なユニークな「素材」をどんどん開発して頂きたいものである。

#### 受講者 14

ジオパークガイドとしての活動は、今後も「みよしジオガイド」「よびごと案内人」の一員として、市外から訪れた方々に三好の魅力を発信していきたいと考えている。

ツアーに参加された方々にとって「目に見える景観」「その地で暮らす人々の生活や文化」「育まれてきた産業」が、自分たちの地域と違うことに「驚きと感動」を覚え、また自分たちの地域との共通点を見つけたときに「親近感」を抱くものだと思っている。そのために説明一辺倒のガイドではなく、参加者の気づきを大切にしたいガイドを心がけたい。

もちろん、ジオパークガイドとしては三好の景観、人々の暮らしとそれを支えてきた産業には大地の成り立ちと仕組みが深く関わっていることをわかりやすい表現で伝えていくことが重要であると思われる。

また、市内の方々、特に小中学生にはこの地で地形や土壌、気候の特徴をとらえ、時には猛威をふるい災害をもたらすこともあるが、大地とともに生きてきた先人たちの知恵を学ぶことによって、ふるさとの歴史と文化が育まれてきたことを伝えたい。

個人的にはジオパークガイドとしての資質を高めるために研修を深めていきたい。郷土の歴史や文化を学ぶこと、地域で生きてきた人々の話を聞くこと、大地の成り立ちや仕組みをきちんと理解すること、そのうえで三好ジオパーク構想のジオサイト・エコサイト・カルチュラルサイトをガイドできるようになりたい。ツアーでは参加者の五感を刺激するようなガイドや自分の言葉で相手にわかりやすい表現に心がけたい。今実施しているコースだけでなく、自分なりにストーリーをもって新たなコースも作り上げていく活動もしてみたい。また、他のジオパークのガイドたちとの交流を深め互いに切磋琢磨したいという希望もある。

## 受講者 15

三好市の自然環境の保存維持とこれまで地元の皆さんが受け継いで来られた地域の文化、歴史、地域独特の風習や生活環境の保存維持活動に参画し貢献したいと考えている。具体的には現在三好市で行われている活動や取り組みへの理解を深め、その活動に参画する或いは支援して行きたいと考えている。私は東京に居住しているが、全国通訳案内士として今後、海外から日本を訪問される外国人のお客様をご案内して四国及び三好市を訪問しご案内するニーズが出てくる可能性がある。そのような地域の紹介に携わるためにはより深い、そして最新の現地の情報収集が必要になってくる。最新の情報にいつも繋がっているためには、日毎からの地域文化興隆活動への積極的な参画が求められると思う。三好市及び地域をより良く理解するためには何らかの形で地元の自然保護、文化交流に参加することにより効果が得られること、日頃から様々な活動に興味を持ち常時情報に触れていること、及び他地域に住む者としての少し違った経験や見方から意見を述べさせていただくことも地域活動の支援の一環として意味があるのではないかと思う。又、将来はお客様が現地を訪問するのではなく Zoom や Teams などの Web 会議システムを介してヴァーチャルツアーによるリアルタイムでの現地に居るかのような体験をするスタイルが増えてくることが想定される。そういった新しいスタイルでの地域紹介の方法を築いて行く、または慣れていくためにも遠隔地にいながらも三好市地域の活動に日頃から携わって行くことは非常に重要であると考えている。吉野川及びその支流に住民の居住地域がある三好地区は素晴らしい自然環境の存在に囲まれまさに将来のジオパークとしての要素・要件に恵まれている。このような全国でもまれに見るジオ環境の豊富な地域である三好市及び三好地区の自然地形的な特異性、特に四国山脈の出現によって形成された吉野川を中心とした地形及びそれに基づく居住者の集落の作り方、長年にわたる治水との取り組み、吉野川がもたらす自然の恵み等魅力がたくさん散りばめられている地域でもある。この良さを全国にそして世界に発信するお手伝いをして行きたい。

## 受講者 16

この度は大変有意義な講座を受講させていただきまして心より御礼申し上げます。三好ジオパークガイドとしてお役に立てますよう、これからも一層励んでまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

私はフランス語の通訳ガイドをしておりますので、外国語の知識を必要とする作業や海外からのお客様を受け入れるための工夫を施す点でお役に立てたら嬉しく存じます。例えば、配布資料やホームページの翻訳作業、海外のお客様が閲覧することの多いサイトへの情報掲載など、多言語対応を推進することで国内外からより多くのお客様を誘致できるように努めたいと考えています。また三好市はすでにフランス人に人気のツアーにも組み込まれており、コロナ禍終息後に再び団体のお客様をご案内する可能性が高いエリアです。個人客についても昨今はゴールデンルート以外のエリアに関心が向く傾向にあり、今後、個人客のガイドでも訪れる可能性が大いにあると思いますので、今回学ばせていただいたことをガイディングに生かし三好の魅力を存分に伝えていければと思っております。

住まいが東京ですので、現地で頻繁にガイドすることは難しいかもしれませんが、必要に応じて実際にお客様をご案内する活動にも参加したいと思っておりますし、東京に住んでいることを生かして、今後、東京周辺でのPR活動にも一助になれるのではないかと考えております。例えば都内の徳島県や四国のアンテナショップを拠点に一般の方々向けのジオパークPR活動を行うとか、将来的には旅行会社とタイアップしてジオパークツアーを企画できたらよいなと思っております。

東京オリンピック後、再び外国人の入国制限が撤廃されてインバウンド需要も個人客から再び増えると予想されています。私はフランス語の通訳ガイドという技能を生かして、三好ジオパーク構想のインバウンド面で力を発揮すると共に、東京から三好ジオパーク構想の一助になりたいと思っております。

## 受講者 17

遠隔地に住んでいるため、実際にそちらに出向いてガイドとして活動するのは難しいです。しかしながら、自然観察などをしているとき、三好市のことを話す機会を見つきたいと思います。例えば、広告の役割を果たすことです。この養成講座で教えてもらったこと、自分で調べて得た知識を利用して、風景や地学的な共通点や違い、三好市ならではの暮らしをもう少し自分なりに咀嚼して話すことができるようになりたいと思っています。そうすることによって互いの特徴が際立ち、興味を持ってもらえると思います。

実際に仕事で外国人にガイドをしているとき、できるだけ見えないものについても説明するようにしています。例えば、自分の祖母、父、友人から聞いた創作の昔話、生活の話です。パンフレットやネットで見ると日本の観光地写真だけでは、そこに暮らす人のことはわからないものです。暮らしに基づいた話をし、身近に感じてもらえ理解が深まると期待してのことからです。三好の妖怪伝説も利用し、欲を言えば、日本人の心（精神性）をわかって欲しいとも期待しています。

おそらく三好地域では外国人旅行の旅程には、かずら橋と川下り中心の旅程が組まれていることと思いますが、それだけでは本当に勿体ないことです。バスからも見える傾斜地の暮らしと人々についても、是非紹介したいです。イサムノグチが芸術的と言った段々畑（傾斜地）についても、実際にどういう保存の仕方をしているのかも見えるところで説明、そこに暮らす人々と実際に話をし質問に答えていただくこともしたいです。

日本の地形や成り立ちを説明しているときに、「日本にはこういう所があるんだ、次に行ってみよう」と次に旅程候補の挙げてもらえるように三好市を写真などを見せながら紹介したいです。風景とそこに暮らす人々の知恵を紹介すれば、身近に感じてもらえると思います。

入間市博物館で長く茶の勉強をしているので、三好の茶葉を使って、煎茶、番茶、紅茶の茶製造工程の最後の火入れを体験、試飲をしてもらいたいと思います。同じ茶葉でも外国人に身近な紅茶ができることを知ってもらいたいし、日本茶のおいしさを知ってもらいたいと思います。

## 受講者 18

ジオパークガイドとして活動したいことは、現在実施しているツアーのエリア以外のエリアで新しい形式のツアーを開発して実施していきたいと思います。先日、徳島大学のサイクルツーリズムのシンポジウムに参加して、矢部教授が美濃田大橋は素晴らしいと褒めていました。自転車を利用したツアー（ポタリング by ブロンプトン）を実施している（株）アワレさんの提供しているサービスを利用して、辻駅前から辻街並み⇒美濃田大橋⇒美濃田の淵⇒大柿遺跡⇒三野の道の駅（中央構造線の露頭）⇒山村用水（釜所）⇒東三好橋⇒東みよし町原の吉野川の河原（中央構造線の露頭）⇒松尾川第二発電所⇒辻駅の戻るというようなツアーコースを開発し実施したいと思います。そのほかには、タクシー利用のツアーを開発したいと思います。例えば、馬場の展望台、馬場集落、西山集落、川人家の長屋門、密厳寺を回るコースのツアーコースを開発実施したいと思います。

ガイドだけで実施するコースだけでなく、地域の持つリソースを活用してツアーを実施することにより、ジオパークの恩恵を市内の事業者や市民が享受できるようになるようなコースを開発・実施したいと思います。そのためには現在のみよしジオガイドの会のメンバーを増やす必要があります。今年の養成講座の卒業生の中から何名の新規入会会員が獲得できるかわかりませんが、毎年数名の獲得を図る必要があると思います。現在の会員数では、新しいツアーコースを実施するときにはガイド人数の不足することになることが予想されます。

さらに、現在の会員の高齢化が進むために、ガイド会員の補充は必須です。新しい会員を獲得するためには、現在の会員がガイド活動を楽しんでいる様子を見てもらって、楽しそうだから自分も参加したいと思われるようなツアーガイドを実施できるようにしていきたいと思います。

## 受講者 19

今回、お二人のタイプの違うガイディングを見せていただきました。お二人に共通していたのは、ガイディングで案内する人たちがいかに学び楽しめるかに気を配ることだと思います。自分がジオガイドになれば、一般的な観光とは違う楽しみ方を提供したいと思います。それには、体験や、学んだことを実際に見る機会が効果的だと思います。やはり5感に訴えるものを根底に置く必要があるでしょう。

## 受講者 20

今私はジオパークガイドとして、2年が過ぎ3年目となるところです。今は主に池田市街地のジオツアーと時々大歩危のジオツアーガイドをしています。この2つのコースは三好ジオパークとして大変重要な場所です。ガイドとしては、未熟でまだまだ、勉強することが沢山あります。

さて、今後ガイドとして、どのような活動を具体的にしていきたいか、ということですが、5つの項目で述べさせていただきます。

① 三好市の小中高生の子どもたちに、学校教育の一環としてジオパーク学習を取り入れてほしいと思います。今ある地形は元々あったものではなく大地の大きな変動によって出来たものなんだ。そしてそういった中で人間は生活をして来て歴史や文化が育まれて来たのだ。ということ普段は余り考えないと思いますが、自分の生まれた故郷は、このようにして出来たのだ、ということを知っていてほしいと思います。三好市には全国に誇れる素晴らしい場所が沢山あります。そうゆう場所を知ってもらうことで、将来故郷を離れても故郷に誇りがもて、感心や興味が出てくるのだと思います。そういった学習のお手伝い出来ればと思っています。また、地元の方にもそういった三好ジオパークの内容を知って頂き、故郷は素晴らしい所だと誇りに思ってもらえるよう情宣活動出来ればと思っています。

② ジオパークガイドとして少しでも多くの方に、三好市の魅力を知ってもらう。また、多くの観光客に来訪して頂き、活気のある三好市にしていきたいと思っています。

③ 全国のジオパークガイドさんとの交流を通じて、それぞれの良さや、ノウハウを勉強して三好ジオパークガイドの改善やレベルアップにつなげていきたいです。

④ ジオパークガイドとして、もっとレベルアップを図る。ただ説明するだけではなく、三好市を好きになってもらえるガイド、三好市は素晴らしい所だもう一度来てみたい！と思ってもらえるガイドを目指していきたいと思っています。

⑤ 新コースの開拓。池田市街地も他にいろいろな場所があるので、お客様のニーズに対応できるコースを検討していけたらと思います。また、将来的には三好市は四国の市町村で一番面積が広いので他にも面白いコースがあると思うので検討して行きたいと思っています。

## 受講者 2 1

☆ 四国という島全体でジオを捉えた上で、三好ジオパーク構想を促進していけたらと思う。

四国全体から見て三好の特徴をアピールしていければ魅力も倍増するのではないのでしょうか。海の景観や情報は島国日本にとって必須と思えるので、室戸ジオパークや四国西予ジオパークとコラボし、関わり合うお互いの特徴を紹介しながら四国全体の発展につなげていけると思う。

☆ 伊豆大島のガイド、西谷さんのような地元ラブの温かいガイドをめざしたい。

西谷さんのように地元を知り尽くし、愛情を持った目で紹介できると、「是非行ってみたい!」という気持ちになると思う。それはその土地に住んでいないとなかなか難しいことと思うが、何度か実際に足を運び、自分の目で見、耳で聞き、五感を使ってその土地ならではのお宝を確かめる必要があるので、達成するには時間と労力が必要になると思う。

☆ ツーリズム(広げる活動)を中心にできたらいいと思う。

近年はモノ消費からコト消費へ移行しており、特にコロナ禍においてはツーリズムの形態も対象も変化している。集客はインバウンドより国内が対象となり、オンラインツアーも最近注目されている。景勝地を回り、特産品を購入するというタイプの旅行から、その土地ならではの体験ができるツアーに興味移行している。三好でも、そこでこそ体験できることを探っていければと思う。すでに実施されている吉野川でのラフティング、祖谷での蕎麦打ち、山間地帯でのハイキングの他に、藍染め作品作り・カズラを使った工芸品製作・こんにやくを使った郷土料理作り・お茶を使ったスイーツ作り・酒蔵見学と試飲などの体験も興味深い。料理法や工芸品製作は地元の年配の方々に教えていただくなど、地元の人々との交流が欠かせないと思う。地元の人々が活気づき笑顔になってこそ、持続可能な活動になると思う。このような体験ツアーも古民家を利用した民泊と組み合わせると、若い世代を惹きつける可能性も大きくなると思われる。若い訪問者がその土地を気に入り移住したというケースもよく聞くので、そのような期待もできるのではないかと思う。

## 受講者 2 2

まず、三好市に行ったことがなく、ジオパークへのツアー実施情報を頂くか、情報を得た後、都合をつけてツアーに客として訪問したい。数々のツアーに参加させていただいた後、ジオパークガイド見習いとしてサポーターとして活動をしていき、ガイドとしての自信を徐々に付けていきたい。大阪在住なので定期的にツアー参加は無理かもしれないが、出来るだけ

都合をつけて参加することを自らに課していきたい。大阪では英語通訳案内士として大阪、京都、奈良、神戸、名古屋、鳥取、島根、でガイドをしている。また、ボランティアガイドとして大阪で活躍している。新人ボランティアガイドの訓練方法が、講習、数回のサポーター経験を経た後、ガイドとして独り立ちというプロセスを取っている。

今までは、観光地ガイドとして従事していたが、ジオパークとしてのガイドをやる上は、まったく新しい分野になり、講習で得た知識だけでは不足と感じる。というのは、講習で紹介された地域は三好市のジオパークのごく一部で、広範囲のジオパークの知識を網羅するのは、大阪在住では非常な困難をきたすだろう。数か所のジオパークを選択し、専門的にその地域のみガイドを行うことになる可能性が大。

あるいは、実際、ジオパークになるべく活動していく中で、遠隔地に住んでいて、三好市へ出かけて行ってガイドとして活動するのに困難さ、限界をもし感じた場合、サポート業務専任で活動することが許されるならサポートに徹し、ジオパークガイディングを行う上での改善点等が発見できれば提案していくことになるかもしれない。

### 受講者 2 3

祖谷のかずら橋を核として、日本三大秘境の山岳地を案内していきたいと思います。ジオを学ぶことで、山岳集落の点在する所以が説明することができるようになりました。自然環境や歴史、山岳民の生活をわかりやすく説明し、消滅するかもしれない危機を現実のこととして、この地域の未来にも関心をもってもらえるよう伝えたいと思います。

#### 受講者 24

まずは実際にジオサイトなどを実際に訪れてみたいのです。講座でご紹介いただいたジオサイトなど三好市の魅力を感じることでできる場所を実際に訪れることで、新たな発見があると思います。ジオパークのことをまだ知らない方々に向けて、知っていただけるようにお手伝いできたらと思います。その中で、自分なりのガイドルートを考えてみたり、気に入った場所の写真を撮るなどして、知人に紹介してみたいと思います。

毎年、海外から日本に遊びに来る知人がおりますが、コロナ以降、海外旅行ができないので昨年から来日されていません。この知人家族を、できればこちらにお連れできればと計画しています。外国人や、家族連れの方が訪れた場合に、どのような場所が気に入ってもらえるのか、個人的にリサーチしてみたいと思います。

## 受講者 25

手を伸ばせば空に届きそうな急傾斜地で育ち、いつも暮らしのそばに、吉野川が流れています。それは、そこに暮らす者にとってはあたりまえの景色です。讃岐山脈の峠や川岸の岩の地層の傾き、あちらこちらにある段差など目の前にある景色の理由を知りたくて、ジオガイドの会に入りました。

入会し約 2 年、池田市街地と大歩危のガイドを練習しています。入会当時は、説明内容を覚えるのに必死でした。新型コロナウイルスの影響でガイドができない時期があり、このような講座受講や現地研修、ガイドの方向性などを考えたり新ツアーの企画学ぶ機会となりました。本講座を受講し感じたことは、ツアーは、ワクワクし非日常感を味わいながら、頭でなく心とからだ、五感で感じて楽しめるものにしたい。まずは、自分が楽しむこと。ガイドが楽しんでいけば、お客様もそれを共感してもらえ。情報を一方的に与えるのではなく、相手の関心を引出し、それに合わせてガイドをできるようになりたい。地球もヒトと同じように生きているから動いている。ヒトの時間、大地の時間、地球の時間の違いを知り、暮らしとのつながりを知ってほしい。みよしジオパークを訪れたことをきっかけに、ジオパークや自分の住んでいる場所に関心を持ってもらいたい。

ガイドは、ツアーのスキルだけでなく、文献などで歴史や成り立ちを学ぶこと、実地に足を運び体感すること、保全すること、教育（伝えること）と、幅広いことを認識した。構想内のエコサイト、カルチュラルサイトを迷わずに訪問できるように道の整備など保全活動もしていきたい。年齢を問わず、場所を問わず、いろいろなところでジオのことを話し、草の根運動で地域の方に三好ジオパークの魅力を伝え、仲間を増やしていきたい。

## 受講者 26

その地域特有の地形や地理、そこに住まう人々の暮らし、文化等ジオパーク構想が非常に複合的、有機的であることを今回の講座で学ぶことが出来ました。一番に考えなければならないのは、その地域の人々がジオパーク認定によってどれだけの恩恵を受けるかです。中央構造線上にあり、地形の成り立ちにフィリピン海プレートがかかわっているこの地域は、今後大きい地震に見舞われる可能性が大きく、地形から台風等の風水害も予想されることから、住民の方々の安全確保のためにジオパーク構想でのさまざまな研究が生かされて、防災に予算が確保されるのが一番と思います。現在のところ、JT が撤退し、めぼしい基幹産業といわれるものがあまり見当たらないことから、この地形が生んだ美しい風景や文化を生かして、観光で人を集めるのが手っ取り早いと思います。

現在は、コロナ禍でなかなか現地に人を集められませんが、先日の講義で見せていただいたように伊豆大島や三笠市のように魅力的なスライド制作でオンラインツアーをすることで多くの方に三好の存在をアピールできるのではと思います。通訳案内士である私自身、この 3 月上旬にあるインバウンドの DMC に協力する形で世界旅行博向けのスライドや動画を作成する経験をしたことから、お役に立てればと思います。またインバウンド再開にむけて、BUYER to BUYER の DMC との橋渡し役になり、安定したインバウンドの供給ができれば幸甚と思います。

環境と文化の保全や住民の安全な暮らしのためにはやはりお金の捻出が非常に大事だと思います。そのためにインバウンド業界に身を置くものとして、観光公害を発生させたり現地の環境を破壊しないような適正な規模のツアーを運営できるように協力できたらと思います。ただ、観光は平時には地域創生の大きい力となりますが、非常時には一番に打撃を受ける産業です。私は、昨年来身をもってそれを知ったので、観光にも非常時にも生かせる技術や技能を探し、ドローンに活路があるのではと思いました。来年には航空法が改正され、ドローンは物流にも急速に導入されます。平時には美しい風景を空撮して観光誘致に役立て、また国内外のドローンユーザーを集客し、非常時には被害の状況を調べたり、物資を運搬したりと常時有効に活用できます。私は昨秋、ライセンスを取得しました。那賀町は日本ードローンの飛ぶ町として特区指定を受けています。そちらと連携して、より風光明媚なこの土地でもドローンを活用できる体制づくりに寄与出来たら幸甚です。

## 受講者 27

今回の研修を受講して気付かされたことは、ジオパークガイドとしての業務内容はとてつもなく広範囲に及ぶ完成の無い世界であるということです。

### <抱負と今後の活動>

私は「祖谷・大歩危エリア」「室戸エリア」を仕事でそれぞれ40回・20回程訪れました。しかし「三好ジオパーク構想」サイトは、まだその一部しか見えていません。今後プチガイド講座での様々な資料を再度学習し直し、現地の山・川・マチを歩き又推進協議会や地元の人たちと交流しご教示いただきながら少しずつ勉強していきたいと思っています。そして（高知沖での）海洋プレートが大陸プレートの下へ沈み込む運動と（大歩危・小歩危での）この沈み込んだ古い地層の隆起運動は関連していることや、全長1,000km以上におよぶ地質境界線「中央構造線」の一部である池田断層・箸蔵断層について、さらには吉野川・祖谷川エリアの地質・地形・歴史・文化・伝統・産業等について、これまで以上に語れる「三好ジオパーク」のジオガイドとしてお客様に感動していただけるよう努力していきたいと考えています。

「伊豆大島ジオパーク」で働く西谷香奈氏は「自然が大好きで火山は友だち」と言われます。私も自然は好きです。しかし自然は時に牙をむくので大好きになるのも火山と友だちになるのも抵抗があります。大好きになれるよう努力はしたいと思います。ガイド自身が自然を大好きになれてこそお客様にも感動していただくことができると信じるからです。北海道三笠市「三笠ジオパーク」の下村圭氏のオンラインツアーでのストーリー展開の巧みさには魅了させられました。今回、西谷・下村両氏に模範を示していただいたことに感謝申し上げ今後研鑽を積んでいきたいです。

ガイディングは知識が豊富なだけでは十分とは言えず、話術・ストーリー展開の巧みさも重要です。知識と話術・ストーリー展開の巧みさは表裏一体です。ジオガイドはお客様を感動させるアーティストだということを忘れず活動を続けていきたいです。